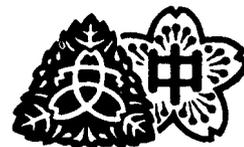


東京桑野会会報

●2009年4月1日発行●発行・編集人 古川清●発行所 東京桑野会事務局 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-3-8 YKB新宿御苑804



No.31

画：本信公久（75期）



ご挨拶

東京桑野会会長
古川 清

- ①桑野の母校に学んだという共通の経験に結ばれた同窓の親睦の会であること
- ②会員はみんな仲良く相親しみ楽しい会であること
- ③何らかの意味で会員の頼りになるような面もある会であること

科学技術の進歩により地球はどんどん小さくなって来ている。昨年郡山に帰った時に聞いた話だが、郡山から東京の大学に定期券で新幹線通学をしている女子学生が何人かいるらしい。東京駅まで1時間20分で着くものだから特に驚く程の事ではないと言われればそれ迄の話だが随分と変わったものだ。私が幼い頃は、東京に出掛ける時はご近所に挨拶に回ったものだし、帰ってきたという方から浅草の「雷おこし」の土産を貰った記憶がある。大学生の時、学割では急行が使えなかったので各駅停車の鈍行で行くと終点の上野駅迄7時間半も掛かった。今や郡山から東京に行くのは「旅」ではなくなったのである。

この様な現象は同窓会や県人会などの「ふるさと組織」に影響を与えている。即ち若い世代は、他にも理由がある

とは思うが、この様な組織に加わることに昔程の熱意を持たなくなって来ているらしいのだ。おそらく首都圏全体が郡山生活圏の延長として観念される状況になりつつあるので、「ふるさととは遠きにありて思ふもの（室生犀星）」に当てはまらなくなっているのであろう。

他方、恒常的なメンバーの新陳代謝がなければ同窓会の様な組織は衰退せざるを得ない。幸いなことに、東京桑野会に関する限り、ここ数年来、年次総会に参加する若い世代の数は増加傾向にある。会員諸兄の協力を得てこの傾向を一層強いものにして行きたい。特に現在の様に「百年に一度」の経済的不況が世界を覆い、世相にも暗さが漂っている時こそ東京桑野会は光輝く存在になって欲しいと願っています。

東京桑野会定期総会開催のお知らせ

東京桑野会のメインイベントである、定期総会と懇親会を次の通り開催いたします。多数の同窓会員の皆様に参加されますようにご案内申し上げます。

- 期 日 2009年(平成21年)6月12日(金)
- 時 間 午後5時 — 受付開始
午後6時 — 総会
午後6時30分 — 懇親会
- 議 題 1. 会務報告の件
2. 予算決算の件
3. 役員改選の件
4. 会則改正の件
5. その他
- 場 所 目白 椿山荘
東京都文京区関口2-10-8
(TEL 03-3943-1111)
JR目白駅、地下鉄有楽町線江戸川橋駅下車
- 会 費 懇親会費 8,000円
(学生は年度会費込み 3,000円)
2009年度東京桑野会会費 2,000円

東京桑野会は会員皆様の年度会費によって運営されています。

総会当日にご出席出来ない会員の皆様には、同封の振込用紙で年度会費2,000円のお振込みのご協力をお願い申し上げます。

◇準備の都合もございますので、出欠の返事は同封の葉書で6月2日(火)迄にご返送下さいますようお願い申し上げます。

事務処理の都合上葉書には必ず住所、氏名、期を記入して下さい。

◇また、連絡もれもあるかと思われますので、先輩、同期、後輩もお誘い合わせのうえ、多数の出席をお願いいたします。

◇昨年度は、2008年6月3日に開催され、140名の参加があり盛況でした。

母校便り

☆第2回目となる、安積高校VS安積黎明高校の硬式野球定期戦が開催されました。平成19年度に行われた第1回では、創部もない安積黎明野球部に“歴史的”な敗北を記すこととなりました(残念です…)。しかし平成20年度は、夏の大会では3回戦でぶつかり4対1できっちりと借りを返しました。新チームとなっても、前記の第2回定期戦において14対5で勝利、地力も着実につけているとのこと。ああ、夏のカチワリを食いたい！。

☆部活動での後輩達の活躍が光ります。全国大会出場は、テニス(女子シングル)、放送(創作テレビドラマ部門、アナウンス部門・朗読部門)、将棋(女子個人)、写真(個人)、文芸(詩部門)と！。放送部の全国大会であるNHK杯では、創作テレビドラマ部門で準優勝でした。素晴らしい！。

☆東北大会は、陸上競技(男子走幅跳、男子500m、男子800m、女子100m、女子走高跳び)、卓球(男子シングルス)、ソフトテニス(女子個人)、水泳(男子：100mバタフライ、1500m自由形、400m個人メドレー、200m個人メドレー、女子：200m個人メドレー、100m背泳、400mメドレーリレー、400m個人メドレー、400mリレー)、ラグビー、でした。

☆現役生徒の進路指導は、母校の先生方にとって最大のミッションですね。夏休み期間中に、首都圏の著名大学訪問を行い“やる気”を引き出す、といった特別行事が実施されています。東京

人が、季節が、集います。

味

お食事

伝統の味に季節の彩りそえて

- 料亭・錦水内・れすとらん花車
- 石焼会席処・木春堂
- そば処・無茶庵

宴

ご宴会

華やかな集いに17の大小宴会場

- 2,000名様までのパーティー、国際会議、ファッションショーなどのお集りに。
- 最新機能の音響装置。

寿

ご婚礼

佳き日に永遠の幸せを誓う

- 800名様までの日本料理、フランス料理、着席ご披露宴。
- 庭園での記念撮影も随時お撮りいただけます。
- チャペルでのご挙式も承ります。



CHINZAN-SO
椿山荘
03-3943-1111

桑野会事務局および幹事メンバーもその際に、協力をしています。

☆一方で、現役生徒さんたちの家庭学習時間を、母校先生方が調査した結果では…。えっ、1、2年生の家庭学習時間って、こんなに少ないの?! … (2時間から2時間半程度)。

でも、3年生は、例年に比べて平日で30分、休日で60分の増加、とのこと。自分の人生だ、おもいっきり、やれ!

☆今の時代、目先の自己利益を追求する人間が多くなっている気がします。こんな人が目につくと、これで世の中が良くなるのか、と思ってしまいます。安積高校は、「エリート」を養成する学校です。エリートはもともとラテン語で、「神に選ばれた者」のことを指すと言われていました。神に選ばれるというのは、他人のために死ぬ用意ができていくということであり、「自分の利害得失と関係なく他人や物事のために尽くせる人」、を意味します。ラテン語でのエリートとは「人」について使う言葉であって、地位とか階級につかう言葉ではありません。現代社会では、エリートと言う言葉が、職業や社会的地位に対する悪意ややかみを含んで使われるケースがあり、低級メディアによって間違ったイメージが

喧伝されているのではないのでしょうか。正当なエリートが育たない、機能しないことは、社会の重大な損失でしょう。

現在の安積高校では、生徒会活動や応援団(幹部)活動が活発化するきざしがあります。生徒委員、応援団幹部ともに、平成20年度1年生(124期生)の数が増えたとのこと。「公」の意味を理解し、なぜ安積高校が地域からNo.1であると期待されるか、それを本質的に理解している人達でしょう。活躍を期待しています。

☆高校時代に築かれた友情は、人生を通じての絆となるもの。クラスを共にした友人は特別な存在ですね。平成20年度の母校・体育祭では、総合優勝が3年2組!、準優勝が3年3組という、最高学年(受験学年とも言う)がワン・ツー フィニッシュでした。これも強い友情の賜。そして受験学年がワン・ツーって、どれだけスゴイことか。バイタリティーとパワーそして気力がなければ達成できません。今後の活躍が期待できる学年ですね。なお、体育祭を彩る名物は、各クラスの特徴と団結の象徴であるクラスTシャツ。ユニークなデザインのTシャツが、華をそえたとのこと。俺らのころは無かった、うらやましい…。

☆母校卒業生の進路状況を分析すると、「関東指向」が強まっているとのこと。進路指導の先生によると、東大・京大といった最難関大学指向が強まり、また、「関東指向」の強まりで、横浜国立、東京学芸、千葉といった首都圏国立大学や、地方の国公立大学よりも首都圏の私立大学を選ぶ生徒が増えているとのこと。首都圏一極集中が、学びの分野でも起きているようです。就職も首都圏が、ということなので、益々、東京桑野会の役割が大きくなっていくでしょう。

☆本年度(平成21年度)は、母校125周年で、学校祭である紫旗祭が開催されます。皆さん、是非、お出かけ下さい。そして、お泊まりは、東京桑野会会報のスポンサーでもあります、磐梯熱海温泉の5つの旅館を、是非宜しく御願ひ申し上げます。

会員動向

☆当会副会長 水口禎氏におかれましては、1月24日(土)にご逝去されました。東京桑野会の幹事・副会長として長年、ご尽力を頂きました。東京桑野会への貢献を偲びつつ、ご冥福をお祈りします。



ご挨拶

安積桑野会会長
山口 勇 (69期)

昨年、大高前会長の後を急遽ひきうけました山口勇です。何分突然のことでしたので、戸惑う面も多々あったのですが、桑野会員皆様のご協力の下、任期を全うしたいと考えておりますので、宜しく御願ひ申し上げます。

昨年を、漢字一文字で表すと「変」でした。そして、この度第四十四代ア

メリカ大統領に就任したバラク・オバマ氏が主張したのも「変革」です。平成二十年は後世に永く記憶される年になるのは、衆目の一致するところです。特に、リーマンショック以後は誰にも予想すらしていない事態の連続でした。

このなかにあって、安積桑野会は世間の喧騒に巻き込まれることなく、常に泰然自若々と行事をこなして参りました。4月からの各地桑野会、とくに6月の東京桑野会は、例年以上の盛会でした。誠にめでたうございました。7月の常任幹事会、9月の桑野会総会も例年どおり無事に終了しました。

さらに、9月の18日と19日の二日間は、安積歴史博物館において、NHK

スペシャルドラマ「坂の上の雲」のロケがありました。これには、日本を代表する俳優の、本木雅弘、西田敏行、香川照之の3名を含む、百名近くのスタッフが参加しました。安積歴史博物館でのロケには、安積桑野会も全面的に協力しましたので、今年の秋の放映が楽しみです。

さて、母校安積高校は今年125周年の区切りの年を迎えます。平成13年に男女共学が実施されて以来、この4月で9年目に入ります。ということは、桑野会員で、女性の社会人が活躍していることとなります。今後、共学後の桑野会員が続々社会人となりますので、ますます期待されることです。

ところで、125周年の記念事業の一

つで桑野会員名簿の発刊を予定しています。名簿の発刊は、周年行事として5年ごとに㈱サラトという会社をお願いしています。サラト以外の会社で、勝手に桑野会員名簿を発刊するケースもあるようですが、この場合は安積桑野会とは関係ありませんので宜しくお願いします。

最後に、安積歴史博物館からのお願いです。安積歴史博物館につきましては、歴代会長が必ず触れてきましたが、今から32年前の昭和52年に、旧本館として国重要文化財に指定されま

した。その後、昭和55年に解体修理工事が完成し今に至っています。国重要文化財に指定されて32年、前に述べましたが、NHKドラマ「坂の上の雲」のロケにも使われるのを見てもお分かりのように、その価値はますます高まるばかりです。

しかしながら、木造建築の宿命というほかありませんが、年月とともに建物の痛みが目につくようになってまいりました。一昨年は、消火栓を含む外回りの工事を4千万円かけて実施しました。工事費用のうち、桑野会として

求められた負担は、その一割の4百万円でした。近々、建物本体の外装の修理に取りかかる予定です。いまのところ、修理費用は5千万円を予定しており、桑野会の負担は5百万円と予想されます。昨今の厳しい経済情勢のなか、お金の話をするのは大変心苦しいのですが、母校の国重要文化財「安積歴史博物館」の維持管理のための特段のご支援とご協力をお願い申し上げ、挨拶といたします。



目指すは、 全国区

安積高等学校長
鈴木 仁

平成21年1月26日(月)県高校新人体育大会ラグビーフットボール競技決勝戦が、快晴のいわきグリーンフィールドでおこなわれた。昨年度、この大会で優勝した本校は連続優勝を期して、宿敵平工業高校と対戦した。開始早々トライを決め先制した本校は、前半終間際平工にトライを許したものの、7:5の2点差で前半優勢で終了した。しかし、後半、開始早々から平工に主導権を握られ、13分にこぼれ球を拾われてトライを許し、その後も2トライを決められるなど、後半は0:21と本来の力を発揮出来ないまま終わった。結果、前・後半で7:26で2年連続優勝を逃した。吉田監督いわく、前半に追加得点を上げられなかったこと、後半13分のこぼれ球が平工側に転がったこと、そして、コミュニケーション不足による連携ミスが重なり、何度かのトライのチャンスを生かせなかった。花園に出場した平工ラガーの自信を崩せずに終わったことが残念との話がなされた。

2月中旬、宮城県女川で開催される東北大会では、今大会での課題を再度

検証してほしい。焦ることはない。今年11月に開催されるラグビー選手権大会(花園)福島予選へ向け課題の克服を図り、リベンジしてほしいと願っています。

さて、東京桑野会の皆様方、今年の総会に初めてお目にかかりました。お招き頂きましたこと、心から感謝申し上げます。校長あいさつの中で、今年は野球とラグビーが、全国大会出場に期待がもてますとの話をしました。しかし、その期待に応えられない結果となり残念です。

この一年、野球とラグビーの何試合かをみて、間違いなく両部の力は甲子園と花園で全国大会に手の届く範囲にあるとの思いにつながりました。ただ、後一步の精神力が必要であるとも感じました。他の競技についても同じなのですが、本校の生徒気質に、荒々しさ、勝負に対する飽くなき執着心や溢れるほどの闘争心、そして凶太い感受性等がもっともっとほしいと感じたところです。

今後、様々な機会をとらえて、生徒達に訴えかけていきたいと思っています。目指すは、全国区です。常にそこを目指す意識こそが、安積の精神だとの話をしていきたいと考えています。

さらに、文化部においては、放送部が第55回NHK杯全国高校放送コンテストの創作テレビドラマ部門において準優勝というすばらしい成績を残

してくれました。放送部ばかりでなく、写真部・文芸部一合唱部・将棋部等は全国大会や東北大会で活躍し、顕著な成績を残してくれました。安積高校が女子を迎えて満8年になりましたが、女子生徒がこれら文化部の活躍の中心にいる状況にあり、安積の新たな伝統を築いています。これからの安積を考えたとき、43%が女子生徒数であることを現実としてとらえれば、部活動ばかりでなく、平素の学習指導においても、生徒指導においても、より極め細やかで手を掛けて伸ばす教育が求められていると感じているところです。

東京桑野会の皆様には、今後ともご指導ご支援をお願いし、ご挨拶といたします。



画：本信公久(75期)

人の輪

石井宗典（58期）

旧制安積中学58期の私達は、激しく時代の変わり目に遭遇した——。入学した年、昭和16年12月に大東亜戦争が勃発。

戦況が悪化して、4年生になるや、京浜地区の工場に全員学徒動員され、汗みどろになって働き、翌年20年3月、5年生と同時に動員先で繰上卒業させられた。

成績が良く、体に自信のある者は海軍兵学校や陸軍士官学校へ既に進み、進学組は浪人は許されず、退路を断って夫々の学校を選んだ。

進学した学校の在る各都市は、何処も爆撃を受け、程なく8月には終戦となった。

この激動の環境の中にも、気の合った仲間が友情を保ち合った。

その仲間、池田和男君、仲村恵佑君が、後に、期せずして中央線沿線に住み、親しく交わりを続けた。

会社を離れ、自由な身になったころ、時に八ヶ岳山麓に泊しゴルフを楽しむ会を催し、郡山から草野俊明君が、はるばる参加してくれるようになった。

昨年2月初め、池田君から「近く、東京桑野会のメンバーで、西荻窪に住む面々が集まり、“西荻桑野会”をやることになった。君も顔を出せ！」と誘われ、国分寺在住ながら、中央線のよしみで参加することにした。

西荻窪は、善福寺公園など緑が多く、その周辺には昔から文人が住み、高級な住宅が並び、文化の香りの豊かな街である。

さすが我が桑野会の面々、58期から91期にわたり多士済々。

自然食材を供するユニークなレス

トランでの集まりは、まことに楽しい会であった。

話題が発展し、この夏、私がメンバーの八ヶ岳高原のホテルに一泊し、ゴルフをやろうと話が纏まった。

増子邦雄さん（71期）は、そのホテルの近くに山荘をお持ちだという。

一方、東京桑野会では、古川清会長のもとゴルフ同好会があり、7月15日に「よみうりゴルフ倶楽部」で会があるので参加しないか、と高松ゆたかさん（74期）から誘われた。

嘗て、東京桑野会のゴルフ会が、霞ヶ関カントリークラブで行われていたころ、名門コースでは是非参加したいと思いつつも、会社が忙しく望みは叶えなかった。

喜んで参加した今回、古川会長を中心に、和やかな、実に好い会であった。

そこで、増子さんから、夏の八ヶ岳高原のゴルフ会の予定を紹介し、皆さんに参加していただくことになった。

その際に、東京桑野会の囲碁クラブも併せてやるという。

7月31日正午、八ヶ岳山麓、標高1,200メートルの「八ヶ岳美術館ソサエティ」に参加者12名が集合した。

58期の山本佳君をはじめ囲碁クラブのメンバーは、ダイニングルームに二卓を設け対局し、散策組は周辺をドライブ。

夜は、古川会長差し入れの会津の銘酒を味わいつつ、大いに盛り上がった。

翌日、標高1,380メートルの「シャトレゼカントリークラブ野辺山」は、爽やかな風が渡り、皆さん大いにエンジョイされた。

プレー終了後のパーティーの席で、「来年もこの会をやりましょう」と声上がり、一同賛成、日程は紅葉のころ10月26・27日に決まったのであった。

会社に勤めていたころから、人の輪を多く持つように心掛けてきた。

会社を離れて更に数が増した。

定期的にゴルフをする会は15であったが、今回皆さんとの会が加わったことは、まことに嬉しい限りである。

会を継続するには、会の呼び名を付けると都合の良いことが多い。

会のいくつかの名をご紹介しますと——

「まだわ会」（まだ若い）—大学同級の仲間の会。当初4組が80才を越えて2組に。

「きがわ会」（気が若い）—海外事業



担当当時の現地法人社長たちの会。

「マスク会」一日立・中央研究所OBの仲間との会。

「立川日立会」一立川国際カンントリー倶楽部・日立グループのメンバーの会。

——次回の前夜祭で、この会の呼び名を、古川会長に命名していただこうと思う。

(テクノブレインズ東京エグゼクティブアドバイザー)

友情 in 湯河原

有我政彦 (68期)

卒業してすでに半世紀、68期(昭和30年卒業)3年5組は、柳沼弥重先生の薫陶を受けた中でも一二を争う「悪ガキ集団」40名余の仲間であるが、「同級会」の歴史はなかなか「立派」であると自負している。

在京仲間の「おい! 集まろうよ!」の掛け声で第1回同級会が開かれたのが昭和30年代後半。一端の社会人ぶって天下国家を論じ、大いに盛り上がったものである。

これがきっかけとなり、昭和45年以後、郡山では橋本静昌くん、東京では小生が幹事役として二年毎くらいに開催してきた。

当然のことながら、地元開催の折には「弥重先生」、「堀内良一先生」も毎回参加され、当時の「学生名簿」で点呼を受け、心は瞬時にあの頃にタイムスリップ、実に和やかな集いとなった。

東京地区で開催した折は、集合地を湘南・湯河原にまで足を伸ばし「安倍井文子先生」をお招きしたこともある。

しっかり記録をしていないし、記憶も定かではないが、これまでに開催した回数は悠に15回を超していると思う。

とりわけ6年前の「in 湯河原」は、

今でも印象深いひとつとして心に残っている。

遠く福島市から堀内先生が、郡山、いわき、日立、千葉、遠くは広島から、それに首都圏・在京の諸兄ら総勢17名が湯河原に馳せ参じ、記念品として作成した「ミニチュア校旗」をテーブルに飾り、夜の更けるのも忘れ、往時を偲び懐かしく過ごした「熟成の友情」同級会だった。

翌日は、快晴の「箱根路」を遊覧し、来る母校創立120年を機に再会を約し、散会した。

そして翌年10月、郡山・熱海温泉にて再会、旧交を喜び、翌日の創立120年記念式典に参加、歴史博物館の資料を眺め、往年の「安積健児」を実感することができた。

「また今度な!」と別れたのだが、どうしたことかそれ以降、橋本くんも小生も、つつい雑事に追われ「開催案内」をしないままに、ここ数年「友情の灯」が途絶えてしまっている。

そんな矢先、事務局から本誌への投稿依頼が舞い込んできた。

そう言えば、あのときの湯河原メン

バーはどうしているだろうか、早速近況を聞いてみようと思つたところ、びっくりするほど「元気印」の返事が届いた。

I Yくん、NTT退職後、関連企業も卒業し第二の青春謳歌中。I Sくん、O洋行の社長としてまだまだ現役活躍中。I Iくん、自衛隊退官後、痛風を克服し、自家農園で有機野菜と奮戦中。W Kくん、年50回のゴルフと100坪の庭園で高級花木鑑賞中。O Tくん、成田市の各種ボランティア団体に登録し日々忙しく活動中。M Kくん、郡山市福祉関連施設で市民の健康を願う役員として。H Sくん、郡山大型病院の施設管理責任者として活躍中。F Nくん、現役内科医。(弥重先生の主治医でもあった) T Yくん、広島市郊外にて悠々自適の毎日。W Kくん、S音楽事務所で美人歌手のコーディネイトに一生懸命。K Hくん、日立電線を退職後、特許・マニュアルなど技術文書の英訳に従事中。K Hくん、特技のバスケットに未練を残しながら、目下ウォーキング・バードウォッチングの毎日。S Sくん、町



会員の傍ら、日曜大工、家庭菜園、郡山市の歴史研究、孫の世話など大忙しの毎日。小生は日本防災士会・災害救援チームのメンバーとして、ボランティア活動の日々。

すでに「古希」を過ぎているのに、仲間の多くはまだ現役、活躍中との頼もしい便りに勇気づけられ、「年寄りだから・・・」などと「しょぼついてはいられない」。

再度懐かしい仲間との「友情」を確かめる機会があればとも思っている。

ただ、残念なことは湯河原のメンバーだった堀内先生、KTくん、THくん、IHくん、SSくんが「永遠の人」となってしまった。淋しい限りである。

合掌

(財市民防災研究所監事)

安積の友情とは実は…

大和田允彦 (71期)

「東京桑野会会報」No.26「母校創立120周年記念号」に日本の電気通信事業の発展に貢献した安積桑野会の面々の業績について紹介した。50期の橋本太吉氏、68期の柳沼尚志氏、75期の森屋邦夫氏、82期の我妻誠氏及び大和田の5名が同じ日本電信電話公社（現在の日本電信電話株式会社）の電気通信研究所に在籍し、全員が電気通信用品の研究実用化の分野にいた。特に橋本太吉氏には、新入社員であった大和田は半導体技術理論及び研究実用化の進め方等についてご指導いただいた。又、森屋邦夫氏とは通信システムの実用化に際して、二人で共同戦線を張り交換機や伝送システム設計者と相対した思い出がある。柳沼氏及び我妻氏とは色んな出会いの場で話をする程度で会った。しかし、我々の間には「安積の友情」と言

える様なものはなく、厳しい研究開発の分野で世界及びシステム屋を相手にした頭脳勝負でいかに打ち勝つかという局面での安心感程度であった。

やはり、友情といえるのは同期の仲間との間にあるものが多いのではないだろうか。

我々71期は「もはや戦後ではない」と高らかに復興を謳い上げた「経済白書」の出た1年前の昭和30年の安積高校に入学した。世の中は落ち着いてきた実感はあったが、一家に何台もの自家用車がある時代が来ることは予想できなかった。昭和30年7月に発表された石原慎太郎の「太陽の季節」及びソビエト連邦が昭和32年10月に打ち上げた世界初の人工衛星「スプートニク号」にはやはり新しい世界が開けそうな予感があった。71期生は昭和33年3月に安積高校を飛び立ちそれぞれ全国の大学及び職場に分かれて、激しい生存競争の中に飛び込んで行った。皆自分の事で一杯で安積の同期の人々は思い出の中に生きているようであった。従って、電電公社での研究生生活になれ、また生活も安定した頃、志賀高原乙女平のゲレンデのロッジで同期の増子邦雄君とばったり出会った時は宇宙人に出会ったような気分になった記憶がある。

71期生の友情が明確に現れたのは、やはり、佐藤栄佐久君が昭和49年に参議院議員選挙に立候補した時であろう。この時は同期生が大勢集まり「栄ちゃん」の当選に大きな力になったのは言うまでもない。その後の知事選にも福島県中に居る同期の仲間が「栄ちゃん」を支えた。郡山の長く住んでいる同期は大変仲が良く、年5回のゴルフコンペを「ワンアンダー会」(71期なので。)と称して開催し、昨年で44回を数えている。参加者も8パーティと多く東京、仙台、福島更に

は遠く広島からの参加者もいる。昨年はコンペの翌日、コンペ参加者に幾人かの同期生を含めてまだ1年早い古希のお払いを安積神社の安藤重義神主(71期)にして頂いた。同時に「栄ちゃん」の裁判での勝利を祈願したことはいうまでもない。最近の各種商品は宝くじになって居る。特等を当てて夫婦同伴で「海外ゴルフツアー」をしようという「ドリームプロジェクト」になっており大いに盛り上がっている。会長は面倒見の良い阿部幸彦君である。

東京在住も郡山に負けじと増子邦雄君を中心にして、塩谷哲夫君、相楽光男君、相楽正則君、佐藤興作君等と旅行会、新年会等の名目で集まっている。郡山の同期の集まりと異なる所は、「安女」の花かつみ会の同期と一緒に集まっている点である。従ってこの集まりは安高と安女の同期の集まりなので実は「郡山第二中学校の友情」である。

(株)シニア・ビジネス・コーポレーション監査役)

「3年間一緒」の友情

秋田 調 (86期)

昭和48年の卒業以来すでに35年以上が過ぎているが、幸い、私が在籍した理数科では3年間クラス替えがなかったこともあり、現在でも「安積の友情」が続いている。最近では毎年クラス会を開催している。平成3年に卒業後初のクラス会を郡山で開催したのち、平成10年からは欠かさず毎年開催しているのである。しかも毎会、クラスの約半数が出席している。これは、安積で過ごした3年間が我々の人生においていかに重要な時期であったかを物語っている。平成16年9月4日には、50歳になる年を期して、



3ヵ年間学級担当をして戴いた五輪正芳先生を二本松の岳温泉にお迎えし、参加者から先生に30年間余の報告をさせて戴いた。最後に、先生からも御挨拶を戴いたが、30年の年月が無かったかの如く、ホームルームのように皆先生の話に聞き入ってしまった。まさに、タイムスリップした気分であった。

わがクラスのクラス会では、参加者全員が近況を報告することが恒例となっている。最近ではそれぞれに責任ある立場となっており、毎回、色々な業界における貴重な情報を聞くことができる。例外は、宮内庁の秘書課長をしている佐藤和寿君からは、皇室関係については一切の情報が聞けないことであろうか。また、健康の話題も多く、それぞれが、どこが悪いここが悪いと報告するのであるが、幸いなことに医師の道に進んでいる同級生が

多く、あつという間にセカンドオピニオンどころか、ふたケタに近い意見が集まる。同級会を機会に本格的な診断をしてもらい、大事に至らなかったとのことも出てきているようである。私も病気ではないが、転んで救急病院で縫った糸を、特別扱いで丹治君に抜糸してもらった。ありがたいことである。

これからも、平成10年以降に永年幹事を務めてくれている土屋君、味原君、小橋君の努力により、わがクラスの同級会は毎年開かれて行きそうである。それぞれが人生の節目を迎えつつあり、話題は、子供の結婚、孫のこと、そして引き続き健康のことと移っていくのであろうが、「安積の友情」は不変であろう。

「近年のクラス会開催の記録」

- 日時：平成10年10月24日(土)、場所：龍虎殿(東京)、参加人数：19名
- 日時：平成11年11月20日(土)、場所：ローレルバレイホテル(福島県岩瀬村)、参加人数：23名
- 日時：平成12年11月11日(土)、場所：塩原グランドホテル滝の湯ホテル(栃木県那須塩原町)、参加人数：20名
- 日時：平成13年5月26日(土)、場所：

福一(群馬県伊香保温泉)、参加人数：12名

- 日時：平成14年9月14日(土)、場所：四季彩 一力(福島県磐梯熱海温泉)、参加人数：22名
- 日時：平成15年9月6日(土)、場所：香港ガーデン(東京)、参加人数：16名
- 日時：平成16年9月4日(土)、場所：花かんざし(福島県二本松市岳温泉)、参加人数：20名
- 日時：平成17年9月3日(土)、場所：旅館 石葉(神奈川県湯河原温泉)、参加人数：13名
- 日時：平成18年9月2日(土)、場所：花かんざし(福島県二本松市岳温泉)、参加人数：16名
- 日時：平成19年9月29日(土)、場所：キハチ 銀座店(東京)、参加人数：15名
- 日時：平成20年9月27日(土)、場所：郡山ビューホテルアネックス(福島県郡山市)、参加人数：20名
- ◎日時：平成21年9月26日(土)、場所：福島県郡山市(予定)

(財電力中央研究所企画グループマネージャー 理事待遇)

桑野の古話

藤田幸寿(48期)

東京桑野会会報30号を手にして、旧校舎の玄関の繪にみいった。わたくしは、1936年3月(昭和11年)の卒業だから、72年の歳月が流れた。会報に同期生諸君の名を見ることも絶えてなくなった。それにしてもこの玄

関は、いつみても、遠いむかしをしのばせる。この玄関に入って、正面突き当りは廊下を隔てて校長室だった。校舎の中央は廊下で、その両側に教室が並び、廊下や教室に電灯の光はなく、雨の日は校舎内が薄暗かった。満州事変が起こって、思想統制がきびしくなり、国体明徴がしきりに叫ばれる時代であった。学校には配属将校と退役の大尉がいて、教練を指導した。

授業料は4円50銭、他に50銭は校友会費であったろうか、父の給料日は毎月21日で、翌日事務室に5円の授業料を納入した。

生徒の服装は黒の詰め入りに桜の金ボタン、学帽には桜章をかざし、2本の白線を巻き、登下校時には、黒の編み上げ靴に黒のゲートルをまき、茶褐色の無骨な革の背嚢を背負った。長年名門の難関校に入学したと誇り

に思っていたが、何十年かたって、同期会のおり、かたわらの友人が「あのときは、不景気でみんな合格だったなあ」というのを聞いて愕然とした。

路上で教師に逢ったときは、停止して挙止注目の礼をした。武道は必修で、剣道か柔道いずれかを選択した。体育館はなかったが、剣道場と柔道場があり、2月の厳寒期には、始業前1時間の寒稽古が10日ほど続いた。時鈴はすべてラップで、恰幅のいいラップさんが、校庭の一角で唳々とラップを吹き、小使室脇の樋から冷たい湧き水を飲んで渴きをいやした。乗馬で登校してくるつわものもいた。

教科は、国語・漢文・国文法・作文。歴史は日本史・東洋史・西洋史にわかれ、英語はリーダー・英作文・英文法・ペン習字に分かれて、指導する教師も違った。4年生から進学、就職の進路別クラスができたが、進路指導は一切なかった。生徒指導も行われず、少々

ハメをはずした生徒は、有無をいわさず転校させられた。留年制があって、落第する生徒もいた。落第生は、教室の火鉢にそばで、牢名主然と威張っていた。暖房は教室に角火鉢が1コ、真冬は網の箱で、弁当を温めた。

1学期の中頃、学校公認の「全校集会」があり、4年生以下は、剣道場の床に正座させられ、5年生がまわりを取り囲み、厳つい生徒が、かわるがわる説教をした。生意気と目された生徒は前に呼び出され、5年生が円陣を作って怒鳴りつけた。叩くことはなかったが、下級生は、頭をたれ、せんせん競々としておののいた。

4年生の時「創立50周年記念行事」があった。展覧会が行われ、美術部員だったわたくしは部員と共に、卒業生で帝展（現日展）無鑑査の日本画家荻生天泉画伯の大作「揚貴妃」の繪を教室の壁面いっぱいに掲出した。その見事な出来映えにただただ感嘆した。

「荒城の月」の土井晩翠二高教授の記念講演があった。和服に袴姿の先生は長身瘦躯、飄々として壇上に立ち、開ロー番「犬が西向きゃ、尻尾は東」とおっしゃって話を始められた。満場の生徒は、肅としてお話にききほれた。

(元・高等学校学校長)

躍進する朝河貫一顕彰協会の活動

矢吹 晋 (70期)

2007 - 08年は朝河貫一顕彰協会にとって飛躍的な年月であった。3月にイエール大学で朝河記念シンポジウムが開かれ、秋にはキャンパス内に「アサカワ・ガーデン」が開園され、古川清会長以下、30余名が記念式に招かれた。年が明けると、イエール大学男声合唱団ベーカーズ・ダズンが福島・郡山を訪問し、コンサートを2回開き、

磐梯熱海温泉 安積桑野会旅館案内、帰省の折には是非ご利用下さい。

詳しくは各旅館ホームページをご覧ください。東京桑野会報を見たと言ってご予約下さい。

四季歌 一ウ

TEL 024-984-2115

心づくしのおもてなし

一方ではお出迎えからお見送りまで、お客様に心ゆくまでくつろいで頂けるよう、満足のゆくおもてなしをするべく日々心掛けおります。季節を感じる料理、広々とした客室、眺めのいい風呂、華やかなウエディング、その全てに粋な演出を込めました。わずらわしいことは忘れ、心ゆくまで最良の時をお楽しみください。

www.ichiriki.com

熱海荘

TEL 024-984-2101

日常の雑事から離れて…
たゆやかな山と河の風景、そして静寂。数寄屋造りわずか10室、贅沢な大人の空間。玄関でのお香から寝具の寝心地まで、すべては五感の安らぎのために…
そして、その日厳選された素材で造る、お部屋出しの会席料理でも本当に価値があるものは目に見えないもの…
時が止まりそうな静けさの中、熱海荘には 心に残る時間があります。



はたご 旅籠 松柏 しょうはく

TEL 024-984-2525

ご高齢の方やお体の不自由な方にも配慮した、“やさしさ仕様”の設備をととのえております。

磐梯熱海温泉旅館松柏は、高齢者や障害者を含むすべての人々が安心して快適に楽しめる社会環境づくりに貢献した旅館や地域組合の活動に対して贈られる「人に優しい地域の宿づくり賞」最優秀賞を受賞した「やさしさ仕様」の旅館です。



をりふしの宿 昭 しょうげつ

TEL 024-984-3309代

テレビを消して自分の時を過ごそう。

本を読むのもいい。
飽きたら小鳥のさえずりを聞きながら、まどろむ。
掛け流しの湯に入る。頃合良く食事が運ばれる。
おいしい、地酒でも飲もう。



磐梯熱海 紅葉館 温泉 本館 きらくや KIRAKUNEO

TEL 024-984-2130代

きらくやの基本的な考え方。

通常の旅館はいつでも1泊2食付きそして食べ切れないほど食事とサービスが付きまします。1996年にきらくやと言う名前生まれ変わり、お仕着せの夕食と過剰なサービスを無くして低価格の「一泊朝食旅館」きらくやが生まれました。これはグローバルスタンダード、外国人客も宿泊しやすく、地球温暖化防止にも役立つのです。



合唱コンクールで実績をもつ地元の生徒たちと交流を深めた。

夏には、「朝河の道」選定小委員会の現地調査を踏まえて、朝河生い立ちの故地・二本松から、立子山小学校、川俣高小、安積中学、金透小学校（英語の教員半年）と、東京に出て東京専門学校に入るまでの「朝河ゆかりの道」をたどり、朝河を育てた文化的環境を追体験するための「朝河の道 Road Field Museum」のためのパンフレットを作成した。これは顕彰協会のホームページで読むことも、ダウンロードすることもできるので、ぜひご活用を願いたい。次のサイトである。

<http://www20.big.jp/~asayale/event.files/af-museum.pdf>

朝河は1899年アメリカから両親に宛てた手紙で、次のように書いている。「私は従来次第々々に広き世界に引きつけられ候。川俣より中学、中学より東京、東京より外国遊学、今度は日本より世界へと相談に候」。これはダートマスを卒業したら帰国するものと待ちわびていた両親に対して、タッカー学長の提案で、イェール大学大学院に進学する、博士号を得たあとは、ダートマスで教鞭を執る予定だ、すなわち帰国予定を当分想定しにくくなったことを両親に詫びた手紙である。「両親への孝」には背くが、「人類への貢献」のために歴史学を学ぶ、そのわがまを許して欲しいというものだが、ここには朝河の強い決意が披瀝

されている。

秋9月27日には「朝河の道」を巡るウォーキングが行われた。続いて10月23日には、会津若松市で山川健次郎顕彰会との共催で、「山川・朝河記念フォーラム」が開かれ、二人の知的巨人の業績が論じられた。これら二つのイベントの様子は、次のサイトに写真や記事がある<http://www20.big.jp/~asayale/event.htm>

さて2009年には、どんな活動が行われるのか。東京桑野会の諸兄姉におかれては、ぜひ顕彰協会のホームページをご覧ください、規約等をご理解の上で協会の会員になって下さるよう伏してお願ひしたい（積極的な活動提案や顕彰に関わる情報をe-mailで事務局宛てにお知らせ下さい。アドレスは、asayale@big.or.jp です）。

（朝河顕彰協会代表理事・

横浜市立大学名誉教授）

「バリの人々」の暮らしと、 宮沢賢治がめざした 「農民芸術」

塩谷哲夫（71期）

この夏、ほぼ1ヶ月をバリ島で過ごした。バリ在住の友人（日本人・映像作家）の勧めで、今の日常とちがう生活をしてみることにしたからである。（中略）

このようなバリの環境、雰囲気の中において、私は宮沢賢治の『農民芸術概

論』を思い出していた。宮沢賢治の作品の中で一般にはなじみの薄いものではあるが、私には賢治が目指した理想の到達点として人間—その中で最も真の人間らしい成長の可能性のある者としての“農民”—のあるべきすがたを高らかに、そうとう気負いこんで謳いあげているのではないかと思って気にしてきた作品（1926）である。帰国すると、すぐに全集を紐解いて読み直してみた。（中略）

宮沢賢治は詩・童話を創作した芸術家であり同時に日蓮宗改革のために田中智学の「国柱会」に奉仕して活動したことのある熱烈な宗教家でもあった。だから彼自身は芸術・宗教活動の実践者として激しくわが身を燃やしていたし、その道の行く先にこそ、解放された人間の全面的な成長の可能性があり、芸術に彩られた苦役ではない農業労働が、ゆたかな社会が実現されると考えていたのであろう。

そして「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない。自我の意識は個人から集団社会宇宙と次第に進化する」と考えた賢治は「献身的な農民の友」（谷川徹三、1951）として農民に呼びかけた。（中略）

ここで、前節で紹介したバリ人の暮らしについてのシュピースやコバルビアスの論考を思い返してほしい。1926年に宮沢賢治がこんなにも力んで高らかに謳いあげた人間農民の理想像が、ちょうど同じ年代のバリにおいては、

そば・うどん・酒処

鞍手茶屋

霞ヶ関店 〒100-6001 東京都千代田区霞ヶ関3-2-5 霞ヶ関ビル1F ☎03-3581-7066
大手町店 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービルB1 ☎03-3213-2385
中山峠店 〒963-1304 福島県郡山市熱海町国道49号線中山峠 ☎024-984-3774 〈店主〉上野富衛（78期）

霞ヶ関ビル店
2009年4月
リニューアル OPEN!

東京で福島のけんちんともちを!!
— 昼はそば、夜は酒と肴 —

普通の人々のくらし方としてたくらま
ずして具現されていたのではないかと
私には思われる。宮沢賢治がバリ島に
行く機会があったら、彼もシュピース
と同じように“バリ人”になってしまっ
たのではないかと思う。

私が賢治のこの作品を大事にしてい
るのは、私も人間の全人格的発達の到
達点を彼と同じように思うからであ
る。そして、私は、この目標にいちば
んだどり着きやすい条件を備えている
のは農民なのではないかと思っている。
(中略)

私は友人のおかげで癒しの島バリに
おいて、久しぶりに人々の生活・文化
を感じ、考える生活をした。また、芸
術・宗教・生活が一体となっているバ
リの人々のことについて覚え書きをま
とめる過程で、それに触発されて、以
前からずっと気にしていた宮沢賢治の
『農民芸術概論』の意図するところを
あらためて考えることができた。(中
略)

帰国後、私の歩くところを見て、ワ
イフは「足の踏みしめが強くなったね」
と言った。その通りだとすると、それ
はゴルフ場での鍛錬のせいかもしれない。
いい夏だった。

(東京農工大学名誉教授)

(編集部注記：本原稿は塩谷哲夫氏か
ら頂いた「2008年夏の覚え書き」長
文原稿が興味深く、氏の許可を得て抜
粋したものである)。

「私の仕事—経済・金融 危機に思う」

星 昌宏 (94期)

昨年来の米国発とされる経済・金融
危機が今年に入りさらに深刻化、その
影響は日本をはじめグローバルに拡散
し、世界中のマーケットが大混乱、実
体経済へのダイレクトな波及、急激な
雇用の悪化と負の大連鎖が続き、100

年に1度の危機とまで言われ、まったく
将来の展望が描けない大変困難な時
期をむかえております。

現在私は、国内大手証券グループ傘
下の資産運用および投資助言を業とす
る会社に勤務しております。法人投資
家を対象に、自社が組成や運用に関与
する金融商品のマーケティングに従事
しております。歴史上の大転換点ある
いは大分水嶺と後世に評価されるかも
しれないこの時代のこの瞬間、東京・
大手町のオフィスにおいてまさに日々
激動の金融マーケットに対峙する立場
で居合わせることに、深い感慨を覚え
る次第であります。今見ているのは、
米国一極覇権構造の衰退と多極化のプロ
セス進行の景色なのでしょう。

市場原理を尊重する新自由主義の思
想は、世界的に大幅に修正されること
になるでしょう。一方で政府による民
間経済への過剰介入、規制強化ある
いは行政機構の肥大化や官僚制の蔓延も
警戒しなければなりません。政府も市
場も万能ではなく、どちらも失敗する
可能性があるとの認識の下、政治上の
大きな争点として議論されながら、微
妙なバランスの上にセンシティブな最
適解を模索することになるでしょう
か。

こうした中でわが国産業界は、グ
ローバル化は不可逆的との前提に立
ち、内外競争の激化は不可避と予想し
ながらも、製造業（ものづくり）中心
による成長を画策するべきだと思いま
す。強みである人材力や技術力を起点
とした高付加価値化やブランド化など
の差別化戦略で生き残りをはかるべき
でしょう。金融業（銀行、証券、保険、
ノンバンクなど）は、産業の潤滑油を
になうサポート的な役割とあらためて
位置付けられるべきでしょう。金融業
主導の発展が難しい理由は、円が国際
共通通貨になりえないことと、日本語
が国際的言語でないからです。通貨覇
権を担保できないのは、政治的リー



画：本信公久 (75期)

ダーシップ、外交力、軍事力といった
いわゆるハードパワーが、日本に決定的
に不足しているからだと思います。

企業を取り巻く経営環境は一段と厳
しさを増しており、リスクや不確実性
の増大、複雑化、多様化の制約条件
下、問題発見から解決までを主体的に
執行できるプロデューサー型人材、画
期的なイノベーションや卓越したマー
ケティングを担える人材の育成と確保
が急務となっております。富を創造す
るエンジン、付加価値や雇用の創出と
いった企業の社会的存在意義を再確認
し、公的セクターへ流れがちな人的資
源の配分を、産業界、経済界、民間企
業での活躍を志向するビジネスマン、
エンジニア、研究者、アントレプレ
ナー（起業家）へと誘導するべく、価
値観の醸成や職業教育の実施が喫緊の
課題となるでしょう。

(大和ファンド・コンサルティング)

「天下に冠たる・・・」

石黒秀司 (89期)

「天下に冠たるあさ・・・」様々な思
いが去来したのだから星団長の声が詰
まった。「最後まで、しっかり！」の
声に促され、団長のリードで歌った感
涙の校歌。シード校を堂々と撃破する
戦いぶりに、夢が正夢になるかもと、
「夏の甲子園」の期待も彌上にも高まっ

た。が、9回二死からよもやの惜敗。今でも、ジーンと胸が熱くなる今年度一番のシーンだ。

今でも個々の細く小さいベクトルが、結集して、太く大きく力強く逞しいベクトルに変革させる安積の応援。選手、生徒、OBが作り上げるあの雰囲気は、特異なもので、正に、安積に集える喜びを体一杯で感じられる瞬間だ。それは、私自身も30年数年前に体感したのと同じであり、安高生ならば、一度は感じているあの特別な感覚。伝統は継承され、今年も多くの人が、安積の空気・かおりに陶醉した。

この空気は、安積を熱く熱く思う人々の数とその情熱の掛け算で、醸成され、誰もが羨む、圧倒的に大きく、高いステージを作る。今、私たちは安積に集い、関れて、幸せであり、恵まれた環境を享受していることに感謝したいと思う。子供たちもこの喜びを体一杯に表現し、伸び伸びと安積生活を満喫して欲しいし、私達PTAも、安積に拘れることに感謝し、即行足下の動きを起こすことが、今後よりステージを高める要素だと信じている。

今年度、二回目になる生徒会役員とPTA役員との懇談会を開催し、時間も超過するなど和やかな会合もあった。テーマは、共学前のOBには、考

えられない「卒業式の服装について」「もっと応援に行くには・・・」等等。念の為の補足になりますが、今年の卒業式、女生徒の殆どが、袴姿（レンタルが多いと考えられるので、出費が嵩む。当然、着付け等の費用もかかる。）また、男子生徒はスーツと学ラン半々位か。また、開成山での野球も含め、黎明高校（旧・安女）との定期戦・他競技への応援の生徒は少ない・・・こんな状況に、PTA役員も、安積OBのみの構成故、「今の高校生は・・・?!」などと嘗て自分自身も言われた事は、しっかり棚に上げて、老婆心ながらのテーマについて話合われた。しかし、私達が心配するまでもなく、生徒たちは十分に考えて行動しているというのが、率直な感想であり、先生やPTAを協力者として困った時は、いつでも相談してね・・・程度のスタンスでいいかなと感じている。

狭き門を勝ち抜いた生徒たちは、誰もが羨む安積のステージで、感謝の気持ちで前面にして、部活動に勉強に、大車輪の活躍を見せてくれている。部活動から勉強への切り替え、そしてその集中力。特異な安積の空気の下、若さのもつ可能性と潜在能力をしっかりと身体に刻みながら名実共に「天下に冠たる安積高校」へ力強く大きく歩

を進めている。30年前にタイムスリップしたようなPTAとしての二度目の夢のような安高時代は、アツと言う間に過ぎ去った。これからは、熱烈応援団として力強くバックアップしていきたい。

（安積高等学校 2008年度PTA会長）

安積を応援する

芳賀啓光（96期）

私が原稿を依頼された理由は、よく安積の試合を応援しに（見に）いくからだと心得ています。確かに在京の身であり野球部OBでもありませんが、春、夏と年に数試合観戦に開成山球場を中心に安積の試合を応援にしております。何故、応援に行くのか？高校野球シーズンがくると私の「安積の血」が騒ぐのです。そして、安積の野球観戦を通じて多くの諸先輩、後輩と知り合うことができるからなのです。2001年3月25日。第73回選抜高校野球大会に21世紀枠で甲子園に初出場した安積を応援するため、甲子園に駆け付けた方が多くいらっしゃるかと思います。私も行きました。私も皆さんも卒業以来という数多くの友人と再会し、試合中は校歌をそして紫の旗ゆくところを唄い、たった1時間41分ではありませんが安高生にもどられた時間ではなかったでしょうか？私にとって、甲子園球場も開成山球場も安積を応援する場所には変わらない訳で、40過ぎのオジサンが唯一25年前の安高生に戻れる場所なのであります。

私にこのきっかけを与えてくれた一人の先輩がいらっしゃいます。80期故 江川英男先輩。野球部OBでも応援団幹部OBでもない。しかし、安積を特に安高野球部を最も愛された方の一人と今も思います。2000年春の県大会優勝をきっかけに江川先輩が開設されたホームページ「安積 甲子園へ



画：本信公久（75期）

の道」に導かれ、2000年夏の選手権・福島大会から安積の試合観戦を再開。そして江川先輩には、球場で夜の居酒屋で多くの方との出会いの機会を与えていただきました。

私にとっても安積の3年間は忘れられない時間です。特に野球応援は皆勤賞に差し障りのない限り行っておりました。17年振りの安積の応援。元々資質はあった訳なので、所謂、「焼木杭に火が付いた！」状態に即なったのです。安積を応援する時間が、その昔の「安高生」に戻れる時間であることに気付いたのです。安積の試合以上に嬉しいのが、江川先輩を通じて知り合うことが出来た皆さんとの触れ合いの時間です。「安積」しか共通項を持たないのに、どうして短時間で親密になれるのであろうか？とても不思議に感じた部分もありますが、先輩を敬い、後輩を慈しむという「安積の同窓の力」という素晴らしい力であり、これを築き上げてきた先輩の皆さんに敬意を表さずにはられません。

「安高生」に戻れる時間。普段の雑事を忘れ、年甲斐もなく、スタンドで熱くなり、声を張り上げる。自分をre-refreshする貴重な時間です。これは私の活力の一つです。

安高生だったから安積の後輩である選手諸君が頑張っている姿を見るのが大好きなのです。ちなみに第85回全国高校ラグビー大会。花園で売っていた安積の出場記念のストラップが私

の携帯で踊っています。開会式で行進する選手しか応援できませんでした。

今年も夏の選手権で選手諸君に甲子園に連れて行って欲しいという私の夢から安積の選手を応援しに球場に行きます。是非、皆さんも機会がありましたら、安積の選手を応援しに球場へ行ってみませんか？野球だったらバックネット裏でなく応援席。一緒にスクラム校歌を！

最後に2004年11月5日に永眠されました、江川英男氏のご冥福を改めてお祈り申し上げます。一緒に夏の甲子園で歓喜の声を上げたかった……。

(中外製薬)

「現場レポート(ブラジル体験レポート)」
「志と心意気」でつなぐ架け橋
グリークラブ、ブラジルでの
日本人移民100周年記念公演
を終えて

丹治亮介 (117期)

私が代表を務めていた男声合唱サークル、早稲田大学グリークラブは昨年9月16日から26日までの11日間、ブラジルのサンパウロ、カンピーナス、リベロンプレット、リオデジャネイロの4都市7箇所、ブラジル日本移民100周年を記念した海外公演を行ってきた。ブラジルは日本から飛行機でも27時間。もっとも遠い国の一つであ

りながら、日系人が130万人ととっても多い国である。

では私たちはブラジルについて、そして日系移民についてどれくらい知っているだろうか？

私は今回の公演計画を現地の実行委員会から提案された2年前、私はブラジルの全知識はコーヒー、カーニバル、アマゾン程度。日系移民についてはほとんど何も知らなかった。「ブラジルは楽園で、2、3年で大金を稼いで帰る。そのつもりが、着いたところはうっそうとしたジャングルで、食べるものがなくて蛇まで食べた人もいる……」なんてことは知る由もなかった。そんな苦勞を乗り越えて日系人は、今のブラジルに社会的地位を築き上げてきた。現地でHONDAやYAMAHAの看板を幾度となく目にした。そのような理由から、日本とブラジルでは100周年の捕らえ方は違ったものである。現地では100周年を応援するCMが流れ、街中で100周年の看板が立っているなど大変な盛り上がりだった。

とは言うものの、計画段階では治安や、費用など問題は山積みで何度も挫折しかけたのも事実だ。それでも実現しようと思ったのは安積高校時代の経験による部分もあったと思う。

そもそも私は安積高校時代には合唱部ではなく剣道部であった。チームは福島県史上初の男女団体個人優勝という輝かしい成績を取めた。しかし自分は補欠にもなれなかった。それでもや

小橋クリニック

院長 小橋主税 (86期)

福島県須賀川市仁井田大谷地172-3
TEL 0248-72-1555

めなくてよかったと胸を張って言える。後から振り返ればあの厳しい練習や、数々の遠征、高速を降りた直後にバスがガス欠でみんなで押していったことが笑って思い出される。

今はきつくても何年か経って振り返れば必ずいい思い出になる。そんな確信めいた想いを信じて今回のブラジル演奏旅行を実現させた。そしてその確信は間違いなかった。

さて歓迎ムードの中、演奏会は大成功だった。日本の民謡メドレーでは聴衆のみなさんが口ずさみながらハンカチで目をぬぐう光景が見えたり、初めてのスタンディング・オーバーションも体験することができた。握手やサインを求められたり、感情表現はみんなストレートだ。

演奏会以外でも、TVでドラゴンボールが放映されていたり、ブラジル人に谷崎潤一郎について質問され返答に窮したり、小学校低学年の子供たちに日本語で「こんにちは！」と挨拶されたり、何の肉か聞いてみたらカピバラ（世界最大のネズミの一種）だったり、時間通りに進まないことに慣れてきたり、日本にいただけでは想像もつかないことが、次から次へと起こっていく。

「志と心意気」。今回、同行していただいた理工学術院の大泊巖先生のお言葉だ。自分にはなんの得にもならないかもしれない。もしかしたら損するか

もしれないが、やってやろうという心意気が大切だと。今回の公演には本当に多くの方々のご協力をいただいた。ブラジル稲門会、大学の方々、翻訳してくれたブラジル人留学生、現地で通訳してくれた早稲田の留学生、リオの実行委員会、OBの方々、安高OBにもアドバイスを頂いた。書ききれないほどの方々の「心意気」のおかげで無事成功することができた。

現在、日本には約30万人の日系ブラジル人が、出稼ぎとして働いているという。私たちの「心意気」で、日本とブラジルをつなぐ架け橋になれたらと思う。

(早稲田大学グリークラブ101代(2008年度)部長)

餅つきと私

山本佳（竹徑）（58期）

歳末から正月にかけて餅は日本人にとって欠かせないご馳走である。餅は本来、人の生命に力を与える食物と信じられ祭りや行事などの「晴れの日の食物」とされてきた。

室町時代には10月の亥（い）の日に餅を食べると万病がなおると伝えられ、江戸時代にはこの日登城した譜代大名や諸役人に將軍みずから餅を賜ったという。

私の住んでいる東京の下町は、江戸時代の下屋敷の多くあった所で、三代將軍家光の頃より徒士（かち）組の屋敷地だった御徒町も隣地である。

下谷竹町は江戸時代より俗に「竹門」と呼ばれていた。町内に鎮座します秋葉神社は二十八万石を有する東北屈指の大名で秋田藩主佐竹公上屋敷の火除けの守護神社で西門に竹を使用していたので竹町となった。11月9日は秋葉神社御祭礼、餅つきと模擬店、子供達にお祝いのお菓子配り、大祭直会（なおい）が行われた。

毎年一回行われるこの行事は、子

供達や奥さん方、地域の人達で境内前の広場は賑わう。20キロのもち米を9臼ほどで炊きあげ赤禱の奥さん方が手早くちぎっては丸め、あんこ、大根などからんで配られる。餅つき常連の私は、ねじり鉢巻きで身支度し、米屋の若旦那のこねどりで、気合いをこめて三臼ほどついた。

餅つくや福々しき顔 集いゐる

竹徑

傘寿を目前の今年の餅つきだったが、例年になく杵が軽く感じられ、ふと思ひあたる節があった。石井宗典君を中心に58期の同期7人が卒寿の祝いを兼ねて、石井君が理事長を務めるリゾートクラブのホテルに一泊した朝、散歩の時に拾った桜の木である。長さ1m50cm、握りが14cm、反りのある桜の木刀は、毎朝の上野の森の運動に持参し、30回の素振りを欠かさない。私は柔道マンなので、剣道5段と7段の友人から木刀の握り方、素振りや側面打ちなどの指導を受けた。毎朝の木刀の素振りの効果で、餅つく杵は軽かった。

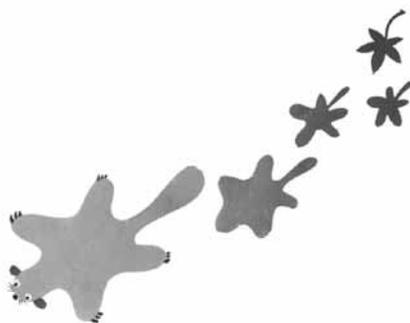
日和田町の出身の私は男6人女2人、8人兄弟の真ん中。青年時代は母は餅つきの際には必ず私を指名し、母がこねどりをした。褒め上手な母の言葉に乗って汗を流し、大世帯の餅つきは和気藹々だった。豊作に感謝し家族や周りに福をもたらす餅つきは、日本文化の優れた行事であり、私にとって母への祈りと望郷の境地でもある。

(歯科医師)

東京桑野会ゴルフ同好会

大内博文（71期）

現在東京桑野会ゴルフ同好会には58～91期まで約30名の会員がエントリーされています。近く・安く・そして楽しいゴルフを求め、夏の暑いときにコンペを開催しています。私がゴル



画：本信公久（75期）



フ会に参加したのは平成11年8月程ヶ谷CCでした。その後古川会長を囲み平成14年まで程ヶ谷CCで開催、15・16年は記録が無く、平成17年以降毎年開催しております。

* 17年9月 7日 (水)

東京国際CC 3組 9名

* 18年8月31日 (木)

同上 4組13名

* 19年8月27日 (月)

よみうりGC 4組13名

* 20年7月15日 (火)

同上 4組15名

* 20年8月 1日 (金)

野辺山CC 3組11名 (臨時)

例年3～4組のコンペです。思い出されるのは平成17年、前日に台風が日本海を北上する予報でしたが、夜半には勢力を落とし大きな影響はないと判断し決行した。明け方には風雨共に弱まり予想通りと思いましたが、スタート頃から強くなり4ホールあたりでフェアウェイ・グリーンに水が溜まり、やむなくハーフで打ち切りを決定しました。シャワーで汚れを落とし反省会・情報交換会を続けていると、14時頃には太陽が出てきて帰りはすっかり晴天となりました。幹事泣かせは天候です。昨年は58期 石井宗典さん

の紹介により八ヶ岳に遊び翌日野辺山CCでプレーしました。下界は30度を越す猛暑の中、26度のゴルフ場は天国のようでした。西萩桑野会は58期の池田・草野さんから74期高松さんまで幅広い仲間でゴルフ・囲碁など楽しい集まりとのことで同好会と接点が出来、今後とも合同での会合を持つことになりました。

さて、ゴルフ同好会の幹事として同好会の歴史について整理すべく、HPで会報1号から30号まで調べてみました。

①第5号 (S59年)「オールドパーの励まし」58期 山本 佳

②第6号 (S60年)「ゴルフ談義」42期 澤田 悌

③第16号 (H6年)「座談会 東京桑野会の歩み」澤田会長他8名

④第17号 (H7年)「アイルランドのゴルフ」63期 古川 清

⑤第19号 (H9年)「ドライバーでホールインワン」71期 増子邦雄

⑥第20号 (H10年)「旧ソ連にゴルフを持ち込んだ男」(日経新聞からの転載)

⑦第21号 (H11年)「我が命の恩人、古川 清君」63期 大津 隆

このほかにゴルフに関する記述が3

～4箇所に見られます。同好会は昭和57年第1回のコンペ開催、昭和60年第4回で澤田 (前会長) さんの優勝が確認できます。ゴルフを愛し、情熱を持ってプレーした澤田さんは昭和26年にはじめてクラブを握り、霞ヶ関CCのシングルを維持、理事長まで勤められた方です。ゴルフはエチケット・マナー・ルールが全てで、上達の秘訣ははじめの1～2年間どれくらい集中できるかが肝要と記されています。澤田さん・古川さん他皆様の文章は非常に参考になります。HPで読まれることをお勧めします。

前記の通り私が同好会に参加したのは同期の増子君の勧めで、今から10年前平成11年8月、程ヶ谷CCでした。当時程ヶ谷CCでプレーするチャンスが無いときで喜んで参加しました。多分3組でのプレーと記憶しています。古川 (63)、斉藤 (69)、遠藤 (72)、大内 (71) の組合せで、非常に楽しいゴルフでした。

同好会の幹事役は初代が49期 星 武夫さん、2代目63期 大津 隆さん、3代目71期 大内が担当しています。まもなく30年を迎えることとなりますので同好会関係の資料お持ちの方は是非事務局まで御連絡願います。しっかりと整理をしておきたいです。

昨年日本男子プロゴルフ界にスーパーヒーローが出てきました。皆さんご存知の石川 遼 (17歳) 君です。女子には数年前より若手が出てきましたが、男子には久々のスター登場です。この会報が皆様の手元に届く頃オーガスタ・ナショナル・ゴルフクラブの真っ青な空の下で両手を高々と上げている石川 遼選手の夢を見えています。

今年も同好会活動は続けます。多分総会までにはコース・日時が決められると思います。希望者は事務局へ連絡してください。お待ちしております。

(社)日本船舶機関士協会

ホームページの運用状況報告

—創設6年目の活動とアクセス状況—

<http://www.tokyo-kuwano.com/>

芳賀雅美 (86期)

(東京桑野会ホームページ委員長)

まさにこの原稿を書き始めたところにその訃報が入った。当会副会長の水口禎さん(69期)が、平成20年12月14日(日)の夜に亡くなったとの連絡。享年73歳。甚だ急な出来事で急ぎ通夜に馳せ参じたが、まことに残念無念である。水口さんとは当会ホームページの開設で私が広報部に参加するようになってからしばしばお目にかかるようになったが、温厚なやさしい風貌と性格に、一目で魅了されてしまった。ご家族のお話では、2週間前まではなんともなかったのに急変したとのこと。2度の大腸がん手術と肺への転移で余命はいくばくもなかったとは言え、ご家族のご心痛は計り知れない。当会にとっても大切な人を失ってしまった。ご冥福をお祈りしたい。

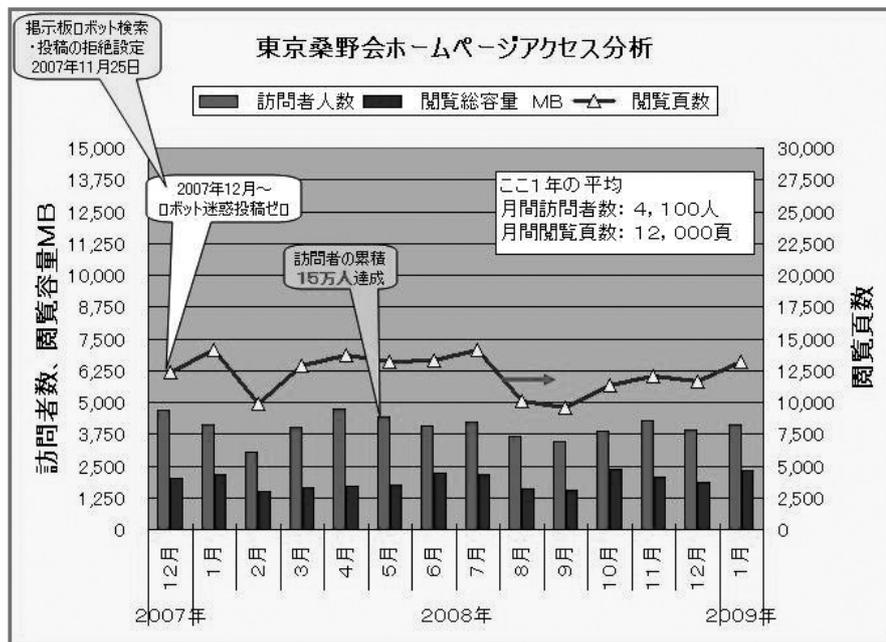
さて、本题のホームページ運営活動の報告をしたいと思う。毎年この会報で当会ホームページの年間活動報告を実施してきたが、回を重ねて6回目となった。幸いにも創設以来大きなトラブルは発生せず、平成20年度も平穩無事に運用ができたことを喜ばしく思い、利用された会員諸兄には心から感謝したい。平成15年3月1日にグランドオープンしてから満6年が経過したが、この6年目については、プログラムの改造や新規コンテンツの追加といった目立った活動は全くなく、自分で言うのも恥ずかしいが地味な1年であったと思う。運営がマンネリ化していたのかもしれない。

当ホームページは活動が低迷しながらも7年目に突入した。しかしインターネットの世界はこの間にも飛躍的に技術進歩し、ブログやプロフなどあまり聞きなれない言葉もあふれ、携帯端末で楽しむ若者層が増加してきている。そう、携帯電話も通話ではなく通信端末としてメールや音楽配信、ワンセグTV、ゲーム、ショッピング、データ交換、サイト検索などが主流となっているのである。ネットバンキングや

お財布ケータイ、個人認証、GPS、ネットリモコンにまで利用されている。このユーザー指向の技術革新には私の頭もついていけず、インターネットの世界は奥が深いことを痛感する。それでも当会ホームページの充実化、アクセス数の維持にと委員一同は努力している次第。昨年度は、何とか安積OBクイズをQ66までに増やし内容も充実させ、また安積歴史博物館のホームページにも初めて手を加え、役員簿の改訂や本田安次氏の展示紹介を実施した。一方、ニュース配信・監視といった管理面での仕事についてはすっかりサボってしまったと、個人的には大いに反省している。言い訳を許されるなら、取材の時間が仕事に忙殺され取れなかったこと、掲示板の迷惑投稿が全くなかったことが理由である。平成21年度の活動ではこれらの管理面も努力したい。またもっと若い世代のお手伝いを期待しており、ホームページ委員会に参加をお願いしている。

ここで当ホームページへのアクセス状況であるが、この原稿を書いている1月までの経過を過去1年間分のグラフで示す(別掲の図を参照:今年1月は見込みの数値)。訪問者数は平成19年11月の掲示板プログラム大改訂で見かけは以前より少なくなりましたが、ロボットによる検索・投稿のアクセスを拒絶する設定にしたためであり、この改訂以降スパム投稿(迷惑投稿)は皆無になった。

昨年12月には累積訪問者数が18万人を突破し、今年6月には20万人に達する見通しである。のべ閲覧頁数も昨年11月に90万頁を越え、今年7月には100万頁が見込まれている。グラフを見てお判りかと思うが、プログラム大改訂以来ほぼ一定の数値、月に訪問者4100人、閲覧頁12000頁で推移している。トピックスと言え、平成20年10月11日に俳優の峰岸徹が亡くなり、当会の百万人の大合唱DVDを紹



東京桑野会ホームページへのアクセス状況

介する頁に検索が殺到した。会員外からのDVDの注文や問い合わせもあり、ホームページ開設の効果があつたと言えよう。

創設6年目の活動はどちらかと言えば、運営者の怠慢で低迷した。しかしながら迷惑投稿の実績数がゼロになったことで、技術面でも一定の高水準を維持しているものと確信する。

今後とも会員の皆様のご期待に沿えるよう、充実したページ作りに励みたいと考えており、なお一層皆様のご愛顧を賜りたい。

(出光興産(株)電子材料部)

安積歴史博物館便り

(東京桑野会事務局)

安積歴史博物館(旧福島県尋常中学校本館)の存在は、安積OB・OGにとって、誇りです。創建より、本年度で119年目を迎えます。その安積歴史博物館にまつわるトピックスを。

(1) 安積歴史博物館の売店新設

博物館に行くところにも Museum Shop があります。安積歴史博物館でも事務所の中に商品を並べてみました。商品は昔からの「桑野会報」「周年記念誌」など倉庫にしまっていたもの。「120周年のマウスパッド」「応援グッズタオル」など。朝河貫一に関する書籍(武田徹氏著)などいろ

いろ。朝河貫一が中学生の頃、英語の辞書を暗記して表紙を桜の木の下に埋めた話は有名ですが、矢吹晋氏がその「朝河辞書、復刻版」を出版したのもおいてあります。

《今後の品揃え》安積高校の購買部に行くと安積高紋章入り学用品なども置いてあるので

仕入れてくる予定です。OB執筆の本も品揃えしたいと考えております。希望のかたは、安積歴史博物館 事務室までご連絡下さい。利益が少しでも運営の足しになれば嬉しい。

(村田英男氏(75期)より情報提供)

(2) NHK スペシャルドラマ

「坂の上の雲」の放映予定
“明治という壮大な叙事詩”を描く司馬遼太郎の作品『坂の上の雲』が、NHK スペシャルドラマとして放映されます。スペシャルドラマ「坂の上の雲」は、2007年11月にクランクインして以来、撮影が国内外で進められています。安積歴史博物館も、その撮影現場の一つとなっています。スペシャルドラマ「坂の上の雲」の中の安積歴史博物館を是非、ご覧下さい。放送予定は以下の通りです。

2009年秋：第1部(全5回)：主人公



達の松山時代から日清戦争まで

第1回 「少年の国」 11月29日(日)

第2回 「青雲」 12月6日(日)

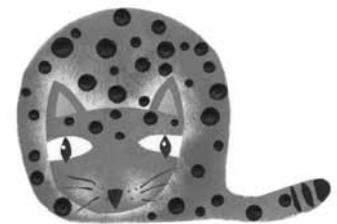
第3回 「国家鳴動」 12月13日(日)

第4回 「日清開戦」 12月20日(日)

第5回 「留学生」 12月27日(日)

各日 午後8:00～9:30(総合)

☆是非、安積歴史博物館を訪問しましょう!。その際には、入館料¥300を、お願い申し上げます。保存・維持・運営の貴重な財源です。



画：本信公久(75期)

会費納入のお願い

東京桑野会の活動は会員の皆様の会費によって支えられています。会報の作成・送付も会費が頼りです。東京桑野会の健全な財務状態を維持するためにも会費納入をお願い致します。

協賛広告のお願い

東京桑野会会報は、五千数百部を発行し、母校・安積高校や福島県立図書館などにも納入されております。“安積卒業生の心意気”を協賛広告で示してみませんか。お問い合わせは事務局まで。

東京桑野会役員名簿 平成 21 年 4 月 1 日現在

□役員

役職	氏名	期	勤務先・自宅住所	電話
会長	古川 清	63		
副会長	大津 隆	63		
副会長兼 幹事長	斉藤 英彦	69		
副会長	増子 邦雄	71		
副会長	高松 豊	74		
副会長兼 副幹事長	櫻井 淳	78		
副幹事長	丹治 則男	81		
副幹事長	渡邊龍一郎	81		
副幹事長	村上 昌弘	85		
副幹事長	坂本 浩一	86		
副幹事長	芳賀 雅美	86		
副幹事長	渡辺 政信	88		
副幹事長	渡部 良朋	91		
会計監査	大内 博文	71		
会計監査	関根 健治	73		

顧問	高瀬 禮二	46		
顧問	竹花 則栄	55		
顧問	小浜 精吾	58		

□幹事

役職	氏名	期	勤務先・自宅住所	電話
幹事	撞井 保夫	51		
幹事	小宮 茂	53		
幹事	佐久間盛政	54		
幹事	結城 洸	55		
幹事	石川 衛三	57		
幹事	池田 和男	58		
幹事	小針 久	59/ 60		
幹事	佐藤 啓	61/ 62		
幹事	村山 俊司	61/ 62		
幹事	鶴沼 直雄	63		
幹事	谷本 泓朗	63		
幹事	渡部 喬一	64		
幹事	本田 保夫	64		
幹事	佐藤 司	64		
幹事	伊藤 巖	65		
幹事	清治 和昭	66		
幹事	橋本大三郎	66		
幹事	横尾 稔	66		
幹事	遠藤 修	67		
幹事	伊藤 泰昭	68		
幹事	青山 掌三	68		
幹事	有我 政彦	68		
幹事	清治 武光	68		
幹事	佐藤 廣	69		
幹事	近内 靖夫	69		
幹事	石井 敬治	70		

役職	氏名	期	勤務先・自宅住所	電話
幹事	矢吹 晋	70		
幹事	渡辺 哲弥	70		
幹事	武藤 勇司	71		
幹事	大和田允彦	71		
幹事	遠藤征志郎	72		
幹事	遠藤 宏司	72		
幹事	菅野 一雄	73		
幹事	武藤 一駿	74		
幹事	伊豆 秀雄	74		
幹事	今川 直人	75		
幹事	柳田 力	75		
幹事	満井 和正	76		
幹事	浅川 章	76		
幹事	草野 幸次	77		
幹事	和田 正哉	77		
幹事	椎野 靖啓	78		
幹事	宗像 良保	78		
幹事	大竹 英雄	79		
幹事	山元 紀美	79		
幹事	上石 利男	80		
幹事	安部 直文	80		
幹事	斎藤 誠	81		
幹事	石井 俊一	82		
幹事	古川 清志	82		

役職	氏名	期	勤務先・自宅住所	電話
幹事	永山 幸男	82		
幹事	川口 勝広	83		
幹事	小林 伸久	84		
幹事	境 君夫	85		
幹事	本田 宏	86		
幹事	坂路 誠	87		
幹事	富塚 弘之	87		
幹事	大矢 真弘	88		
幹事	鈴木 修一	89		
幹事	有我 明則	90		
幹事	増子 浩重	92		
幹事	斎藤 宏海	93		
幹事	鎌田 光明	94		
幹事	藤田 健彦	96		
幹事	佐藤 厚	97		
幹事	小野崎 敦	97		
幹事	宗像 孝	97		
幹事	遠藤 昌明	99		
幹事	御代田邦英	100		
幹事	葛西 正輝	102		
幹事	土田 隆弘	105		
幹事	加藤 祐一	105		
幹事	柳田 良幸	106		
幹事	後藤 大	107		

編集後記

○私が出品している絵画展会場で、本信公久さん（75期）さんとバツリお会いしました。

案内は差し上げておいたのですが、本信さんは今売れっ子の絵本作家、よほどの機会が無い限り、見て頂くことも、ましてお会いすることも「無理だな」と思っていました。

その日、会場の自作の前で、友達と「反省会」をしていた時、お互いにまさかの出会い。一瞬の間があって見詰めること2秒、「オウ」と握手。私の出品作品「チャグ馬出陣」M100号四点一組の辺りで暫しの談話。挿絵の話もどこ吹く風のままだに「ん、ほんじゃ又」。

日が迫って。そうだ、挿絵どうしよう。と、その時ひらめき。「そうだ、彼がいい。目も輝いていたし、なにか熱っぽかった。ヨシ、本信さんでいこう」。手紙で丁寧にお願いしたところ、割合早く返信があって、もう作品が同封されていました。

「高松ゆたか様 依頼のありました東京桑野会会報のイラスト送ります。適当に縮小してつけて下さい。建物などほとんど描いたことがないのでうまく描けません。気に入らないようでしたらカットして下さい。よろしくお願いします。 本信公久」

ナニナニ、本人のご謙遜とは裏腹に、それは絵本作家の目で見て表現した母校旧本館正面。あの重厚さを、サラサラと楽しげにユーモアに満ちたセンスで表現されており、私はこれに感動してヒトメボレでした。

私の手元に、本信さんから昔し頂いた絵本「シマウマだけどうサギ」があります。動物の姿の中に、別の生き物がカモフラージュされていて、見つけるのが楽しみの本です。近頃は、本屋さんの「絵本コーナー」で、本信さんの絵本を手にかけることが出来ると思います。是非、お付き合ひ下さい。

（74期 高松ゆたか）

追記：西荻窪近辺にお住いの方で秋の八ヶ岳山麓に遊ぶ会を企画しました、10月26日（月）一泊です。散策、スケッチ、囲碁、ゴルフ同好の方々歓迎いたします。問い合わせ先 増子邦雄（71期）、高松豊（74期）

○東京桑野会のホームページが月平均のアクセス数が4,100件とは、芳賀さんの頑張りに頭が下がります。また忙しい最中の渡部広報部長の働きにただただ感謝です。昨年の暮れにこの会報編集を長い間、一緒だった水口先輩の訃報に接し、哀悼の意を捧げます。水口さんとは、建築関係の同業者として、共通の友人も多く、様々なアドバイスもうけ、親しくさせて頂きました。旧安積本館の建築の古い図面と現在の変更点などの指摘や、北欧の街の風景スケッチ等、建築家ならではの楽しさを思い出します。

（78期 櫻井淳）

○昨年の編集後記でNTTドコモの中継アンテナが会社敷地内に建った話を書いた。職場で携帯が使えるようになったので思い切って端末を最新型に換えたら、ワンセグTVが付いてきた。こんなもの不要と思っていたが、通勤の電車内でTVを見えるという楽しみが増え、すっかりはまっている。家のパソコンでは無料のネットTVにはまり、妻は韓流ドラマ、私は洋画を良く見るようになった。モバイルPCも使うようになり、これがユビキタスという世界の実現化かと、少し前の未来空想小説が現実となっていくのに驚いている。情報伝達の技術革新は、予想をはるかに超越しているのだった。

（がっちゃん）

○昨年度は仕事の関係で、新たに3カ国を訪れた。通算15カ国目の訪問地となったのは、ブラジルであった。ブラジルのバイオエタノール事情を調査に行っただが、その際に大変にお世話になったのが、塩谷哲夫先生である。安積の大先輩、ブラジル農業に精

通される東京農工大学名誉教授である。先方の機関やコンタクト先を紹介下さり、大変に有意義な調査を行うことができた。塩谷先生のお話や書かれる文章は、大変に興味深い。本号でも少し紹介させて頂いた。それにしても、ブラジルでは言葉が通じなかった。英語はそこそこ自信を持っているのであるが、英語自体が殆ど通用しない（知らなかった…）。一人で行動した際には、ちょっとしたお店でサンドイッチを買うのにも、身振り手振りという具合であった。レストランなど、注文も無理っ（仕方なく、何も食わずに、出てきたこともあった）。カルチャーショック、久しぶり…。でもかの国の魅力にハマリソウ。 (GF91)

事務局便り

【事務局からのお願い】会報の発送は、会員各位の住所動向に大きく左右されてしまいます。住所が変わっていると、折角の会報も戻ってきてしまいますので、住所変更の際は東京桑野会の事務局まで、ご連絡下さいますようお願い申し上げます（東京桑野会ホームページにも連絡先を表示しております）。安積桑野会の方にご連絡された方も、ご面倒でも東京桑野会の方にもご連絡下さい。

『東京桑野会会報』No.31

2009年4月1日発行

発行・編集人●古川 清

発行所●東京桑野会

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-3-8

YKB新宿御苑804

斉藤法律事務所気付

Tel 03-3356-6677 Fax 03-3356-6678

E-mail info@tokyo-kuwano.com

URL <http://www.tokyo-kuwano.com/>

製 作●株式会社キタジマ

〒130-0023 東京都墨田区立川2-11-7

Tel 03-3635-4510 Fax 03-3635-4515
